ＡＡＳ名古屋

この解答例は、2 月 10 日　現在のものです

ＡＡＳ（アソシエ・アドバンス・スクール）は、中小企業診断士２次試験に特化した受験機関です。過去問を基軸に置いた学習で、スーパーフレームワークや設問分解練習法など独自の２次試験攻略法を開発してきました。ＡＡＳでは「表現力×構成力×与件活用力」で答案を作成しています。

【令和３年度・第２次筆記試験】事例Ⅰ（組織・人事戦略）

この模範解答例は
ＡＡＳ名古屋が作成しました。

第１問（配点 20 点）（100 字）
理由は、①印刷機の技術革新が競合他社の参入と印刷単価の低下を招き、印刷工場の収益性を悪化させたため、②専門特化された多様な協力企業と連携し、付加価値の高い高品質、高精度な印刷事業に注力するため、である。
（100 字）

第２問（配点 20 点）（100 字）
理由は、①デザイナーやアーティストとの人脈やプロジェクト経験を活かし、デザイン部門の専門性を高めるため、②今後の主力事業と期待するデザイン部門の陣頭指揮を執らせ、スムーズな事業承継を図るため、である。
（100 字）

第３問（配点 20 点）（100 字）
①利点：新たな市場に参入することで、新規顧客開拓や新製品開発による売上回復の機会をもたらした。②欠点：競争環境の厳しい市場の中、顧客開拓のための営業活動や新製品開発に必要な経営資源の不足をもたらした。
（100 字）

第４問（配点 20 点）（100 字）
施策は、①対等なパートナーシップによりアイデアや技術を持ちより、新たなサービスや製品を共創すること、②多様な協力企業と自社技術を情報共有し、相互のネットワークを活用して新規顧客を開拓すること、である。
（100 字）

第５問（配点 20 点）（100 字）
課題は、開発力と営業力の強化である。解決策は、①部門間の計画的な人材交流を実施し、相乗効果の高い新製品開発を促進すること、②顧客への提案活動を評価指標に加えることで、営業活動の活性化を図ること、である。
（100 字）

文責：AAS 名古屋　鷺山はるこ

無断転用・転載を禁じます。